

グリーン系湿地性カラー「熊本FCO3」は平坦地域で現主力品種より収穫本数が多い

平坦地域で8月および9月に定植した株の長さ70cm以上かつ肉穂の奇形および仏炎苞の巻き不良がない(以下、奇形のない)切り花の収穫本数は、現主力品種「グリーンゴッデス」より多く、株当たり1本以上収穫できる時期も栽培1年目の8月定植、2年目の8月および9月定植で長い。

農業研究センター農産園芸研究所花き研究室(担当者:福島健祐)

研究のねらい

現主力品種「グリーンゴッデス」より収量が優れるグリーン系湿地性カラー県育成品種「熊本FCO3」(農業の新しい技術No.738)の平坦地域における生育、収穫本数および切り花品質を明らかにする。

研究の成果

「グリーンゴッデス」と比較した「熊本FCO3」の栽培1年目および2年目の生育、収穫本数および切り花品質は以下のとおり。

1. 定植後の生育は、草高、葉の展開速度および仮軸の増加は同程度で、展開葉は大きい(図1、表1)。
2. 長さ70cm以上かつ奇形のない切り花の収穫本数は、栽培1年目は8月定植で1.8本/株多く、9月定植では同程度、栽培2年目は8月定植では5.9本/株、9月定植では7.1本/株多い(図2)。
3. 長さ70cm以上かつ奇形のない切り花が株当たり1本以上収穫できる時期は、栽培1年目は8月定植で長く、9月定植では同程度、栽培2年目は8月および9月定植ともに長い(図2)。
4. 栽培1年目および2年目の切り花品質は、肉穂の奇形および仏炎苞の巻き不良の発生は少なく、仏炎苞の緑色覆輪割合は同程度である(表2)。

成果の活用面・留意点

1. 「熊本FCO3」の平坦地域における定植時期および栽培2年目までの収量の目安として活用する。
2. 八代地域の生産者ほ場での試験結果(2021年6月16日~2023年7月10日、調査株数は8月定植の「熊本FCO3」は7株でその他は10株)。
3. 8月定植と9月定植は、ほ場およびハウス構造が異なる状況で栽培を行った(表3)。
4. 定植後のスクミリングガイの食害等による欠株は、6月では8割(「グリーンゴッデス」は10割)、8月では1割発生し、9月定植ではなかった。また、軟腐病の発生は見られなかった。栽培はスクミリングガイが少ないほ場の選定や浅水等の対策を徹底すること。

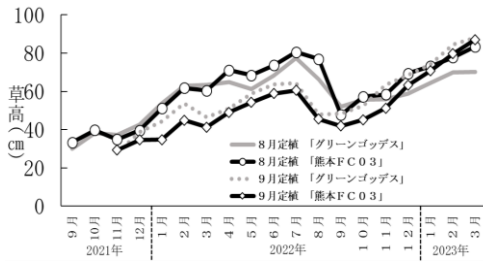


図1 草高の推移

表1 展開葉数、展開第3葉長および仮軸数

	展開葉数 ^z (枚/月)	展開第3 葉長 ^z (cm)	仮軸数 (個)	
			1年目2月	2年目2月
8月定植 「グリーンゴッデス」	1.4	23.7	3.6	9.2
8月定植 「熊本FC03」	1.5	26.7	2.3	8.0
t検定 ^y	ns	**	ns	ns
9月定植 「グリーンゴッデス」	1.6	23.4	1.1	9.5
9月定植 「熊本FC03」	1.5	25.0	1.1	10.5
t検定	ns	*	ns	ns

^z 2023年3月までの調査結果

^y *は5%水準、**は1%水準で有意差あり、nsは有意差なし

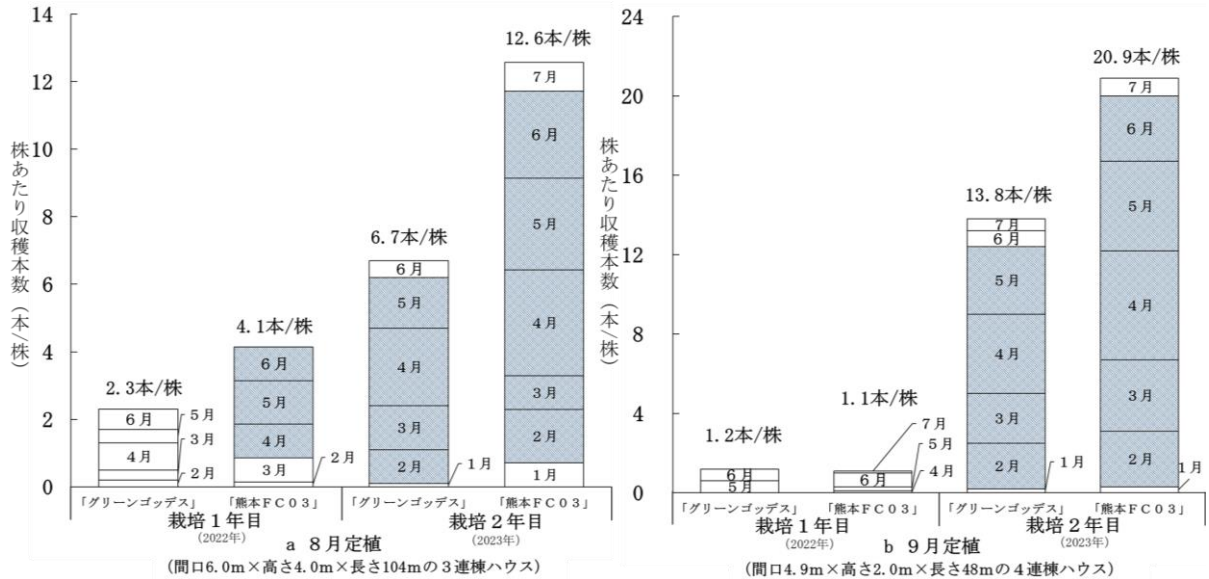


図2 栽培1年目および2年目の収穫本数(切り花長70cm以上かつ奇形のない切り花の本数)

斜線は1本/株以上収穫があった月

表2 切り花の奇形発生率および仏炎苞の緑色覆輪の割合

		奇形発生率 (%)		緑色覆輪割合 ^y (%)
		肉穂奇形 ^z	仏炎苞の 巻き不良	
8月定植	「グリーンゴッデス」	14.3	15.2	25.6
	「熊本FC03」	6.6	3.9	28.6
9月定植	「グリーンゴッデス」	12.9	13.8	24.9
	「熊本FC03」	6.1	3.4	26.4

^z 肉穂が正常に形成されなかったもの

^y 仏炎苞に占める緑色覆輪の発現割合(達観調査)

表3 試験ほ場の栽培概要

	2021年8月11日定植	2021年9月21日定植	
ハウス構造	3連棟(間口6.0m×高さ4.0m×長さ104m)	4連棟(間口4.9m×高さ2.0m×長さ48m)	
栽培環境	月平均気温	14.4~27.3℃	13.2~27.7℃(8月のデータなし)
	月平均地温	17.5~25.3℃	17.6~24.1℃(8月のデータなし)
肥培管理	ひとふりパートII(豊田有機(株))10kgを株周辺に施用、追肥なし		
ビニル被覆期間	1年目	2021年11月1日~2022年6月7日	2021年11月4日~2022年6月7日
	2年目	2022年11月9日~試験終了	2022年11月9日~2023年5月30日
水管理	1年目	水かけ流し	
	2年目	水かけ流し、2023年6月27日~試験終了は落水	
遮光	1年目	2021年6月30日~10月20日(遮光率60~70%程度)	2021年6月30日~10月19日(遮光率60~70%程度)
	2年目	2022年6月8日~11月7日(遮光率90%程度)	2022年6月8日~11月7日(遮光率90%程度)
		2023年1月20日~5月30日(遮光率30%程度)	2023年5月30日~試験終了(遮光率80%程度)
		5月30日~試験終了(遮光率85%程度)	